



地域おこし協力隊が〇〇したってよ!
活動だより



「一緒に笛吹市産のマスタードを作りませんか」

今回は、協力隊の木村と八木で立ち上げた『笛吹マスタード工房』という団体をご紹介したいと思います。

当団体では、市内で生産されたマスタードシード（からし菜の種）と未熟ブドウ果汁を利用し、原料にこだわったマスタードを製造・販売することで、地域のPR、観光資源の増加、耕作放棄地の削減などを目指して活動を行っています。現在は来年夏の製品化に向けて、市内の畑でマスタード用のからし菜の試験栽培を行っています。

原料のからし菜の特徴は、川の土手などに自生するように比較的強い野菜であり、種子の採取が目的の場合、生育初期の病害虫防除を行えばそれほど手間のかからない育てやすい植物です。また、市内で春の景観向上のために植えられている菜の花と開花時期や花の色がよく似ており、代用として活用できないかと考えました。希望者にはマスタードシードの配布を行います。

『笛吹マスタード工房』の活動にご協力・ご支援いただける方、「自分の畑で試しに育ててもいいよ!」という方、もっと詳しく知りたいという方、ぜひお問い合わせください。

facebookページを作成しました
QRコード読み取りまたは
「笛吹マスタード工房」
で検索

